

令和6年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名	川西小学校
-----	-------

1 教育目標	豊かな心で自ら学び続ける川西っ子の育成 ―思いやりとたくましさを備えた主体性のある児童の育成をめざして―
--------	--

2 基本方針	めざす学校像
①子ども一人一人が認められ、大切にされる学校	②子どもたちが主体的に学び活動する学校
③教職員が協働して魅力あふれる教育活動を創造していく学校	④家庭と地域と協働し、安全で信頼される学校

3 指導目標 めざす児童像		
①進んで考える子(かしこく)	②心のかよいあう子(やさしく)	③自らきたえる子(たくましく)

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
学習意欲を高め、確かな学力を身につけさせる	⑪主体的・対話的で深い学びをめざした授業実践のための研鑽に励んだ	A	教員が互いの授業を見学し、学年団毎に事後研究会を行った。児童の考えが深まる授業づくりに向けて、ICT機器の効果的な活用方法を研究する。	全教員が研究授業を行っており、児童が楽しく学習して、成果が表れている。パソコンは、低学年の時にきちんとした基礎を学び、小学生の間に技能を向上させてほしい。	A
「豊かな心」を育む	⑫児童同士のふれあい活動の充実や教師との信頼に基づく関係づくりに取り組んだ	A	縦割り班活動が自己有用感の向上といじめ防止に繋がっている。複数の教師から積極的に児童へかかわることにより、信頼関係を築く指導に取り組む。	縦割り班活動で異学年児童の触れ合いができており、思いやりの心が育っている。地域でも仲良くなっている。いろいろな人と接する機会を設けてほしい。	A
「健やかな体」を育む	⑬子どもが生き生きと活躍できるように、学校行事・学年行事の実施方法を工夫した	A	大勢の児童が運動場で遊んでおり、体力の増加と心身の健康につながっている。感染予防について、教職員共通理解のもと、指導を継続する。	子どもは休み時間に体をしっかり動かしている。遊びを通して、体力をつけてほしい。トイレや手洗い場が清潔に保たれており、感染症対策を行っている。	A
開かれた学校づくりを推進する	⑭地域住民・保護者と共にある学校作りが進み、学校のチーム力が向上している	A	学校運営協議会やボランティアとの連携を図ることができた。地域や保護者には、学校を身近に感じて、協力を引き続き得られるようにする。	学校は、地域・各種ボランティアとの関係を大切にしている。PTAは、活動を見直して、保護者の負担軽減を図っている。地域は交流を望んでいるので、学校行事等を案内してほしい。	A
学校力、教師力の向上を目指す	①学校教育目標『豊かな心で自ら学び続ける川西っ子の育成』を意識した教育活動を実践した	A	体験活動を積極的に取り入れ、児童の興味・関心を高め、豊かな心を育成した。学校行事で、児童の主体性を発揮できるよう、内容の充実を図る。	行事では、児童が主体的に取り組む場面が設けられている。成功体験と人へ関わりが、将来に有益である。来年度も、児童が積極的に動く機会を設けてほしい。	A

